中山間地域等における多面的機能の維持・増進

中山間地域等直接支払制度について、多面的機能の維持・増進を図 るため、自律的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備に向けた前向 きな取組等を引き続き推進。

21,800(21,800)百万円

1 ポイント

耕作放棄地の増加等による多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地 域等において、農業生産活動等が継続されるよう、農業生産条件の不利を補正 するための支援として、中山間地域等直接支払制度を継続実施。

2 事業の概要

中山間地域等直接支払交付金 21,800(21,800)百万円

(1) 対象地域

特定農山村法、山村振興法、過疎法、半島振興法、離島振興法、沖縄振 興開発特別措置法、奄美群島振興開発特別措置法、小笠原諸島振興開発特 別措置法の指定地域及び都道府県知事が指定する地域

(2) 対象農用地

対象地域のうち、傾斜等により生産条件が不利な農用地区域内に存する 1 ha以上の一団の農用地

(3) 対象行為

集落協定等に基づき、 集落の将来像を明確化した活動計画の下での5 年間以上継続して行われる農業生産活動等、一定の要件の下での農用地 保全体制の整備(必須要件)や地域の実情に即した農業生産活動等の継続 に向けた活動(選択的必須要件)の実施

(4)対象者

集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等

3 事業実施主体等

(1) 事業実施期間:平成17年度~平成21年度

(2) 事業実施主体:中山間地域等の市町村

(3) 補 助 率:定額

「担当窓口課:農村振興局整備部地域整備課(03-3501-8359(直))]

中山間地域等直接支払制度の継続的な実施

中山間地域 は我が国農業 農村の中で 重要な位置

> 国土面積の 69%

> 耕地面積の 42%

> 総農家数の 43%

農業産出額 **の**37%

農業集落数



中山間地域の現状

農業生産条件

の不

利

を

補

正

農業生産条件の 不利性

高齢化·過疎化 の進展

担い手の不足

恵まれない就業 機会

生活環境整備の 遅れ

地域資源の維持 管理が低下

耕作放棄地の 増大

食料供給機能及 び多面的機能の 低下

中山間地域等直接支払制度 (新対策:平成17年度~21年度)

将来に向けた前向きな農業生産活動等の推進

農条業件 協 定 者不 **ത** 等利 締 地 結 域 ന

集落協定等に基づき、 集落の将来 像を明確化した活動計画の下での5 年間以上継続して行われる農業生産 一定の要件の下での農用 活動等、 地保全体制の整備(必須要件)や農業 生産活動等の継続に向けた地域の実 情に即した活動(選択的必須要件)の 実施。

のみの実施の場合は8割単価)

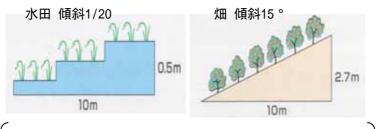
【対象地域】

特定農山村法等地域振興立法&法指定地域及び知事が定める 特認地域

【対象農用地】

下記基準に該当する農振農用地内の1ha以上の一団の農用地

急傾斜地



10a当たりの通常単価

田21,000円、畑11,500円、草地10,500円、採草放牧地1,000円

緩傾斜地



小区画・不整形な田

高齢化率・耕作放棄率の高い集落にある農地

10a当たりの通常単価

田8.000円、畑3.500円、草地3.000円、採草放牧地300円

積算気温が低く、草地比率の高い草地

10a当たりの通常単価1,500円

加算措置

規模拡大加算(継続)、土地利用加算、 耕作放棄地復旧加算、法人設立加算

果 効

農業生産活 動の継続

・耕作放棄の 復旧·防止

交付

!金交付



・農道・水路の 適切な管理

多面的機能 の発揮

・農作業体験を 通じた都市住 民との交流



- ・周辺林地の下 草刈り
- ・景観作物の作 付

集落営農化等 自律的かつ継 続的な農業生 産活動等の体 制整備